



# Rubricと学校行事で育む Speaking力

尼崎工業高校77回生 3年間の言語活動のあゆみ



兵庫県立尼崎工業高等学校 教諭：扇菌尚孝

英語授業研究学会運営委員

[oogizono1986@hyogo-c.ed.jp](mailto:oogizono1986@hyogo-c.ed.jp)

# 自己紹介

- **扇菌尚孝（おおぎぞの なおたか）**
- 私立近畿大学文芸学部文学科英語英米文専攻言語コミュニケーションコース  
（現・国際学部）卒業（2004年～2008年）  
→樋口忠彦先生のお世話になりました
- 国立兵庫教育大学大学院学校教育研究科言語系コース卒業  
（2008年4月～2010年3月）  
→故・山岡俊比古先生の下でSLAの研究をしました
- 2013年より兵庫県で正規採用 2025年で13年目  
福崎高校→神戸北高校に勤務（講師時代除く）
- 現在は兵庫県立尼崎工業高等学校に所属。
- 令和7年度教科主任 総務部（人権担当）

# 兵庫県立尼崎工業高等学校の紹介

- JR尼崎駅の近くにある工業高校
- 創立80周年を超える伝統校
  - ダウンタウンの松本人志の母校
  - (株)キーエンス創業者、滝崎武光の母校
- 各学年5クラス→3年間でクラス替えなし  
**機械科A、機械科B、建築科、電気科、電子科**  
**MA MB A E Ec**
- 大多数の生徒は地元の企業に就職する
  - 大学進学率は5%程 総合選抜入試が中心



# 本日のお品書き

- 尼崎工業高校で3年間言語活動を行った中で得たことをお話しします。
1. 77回生の生徒の3年間のパフォーマンスの変遷とその分析
  2. Rubricは授業と発表の方向性と質を決定づける重要な要素
  3. 教師のModelと中間指導について
  4. 学校行事を活用してSpeaking力の向上を！
  5. 指導法を組み合わせることで発表に導きましょう
  6. まとめ 教育の本質とは何だろうか？



# 1年生で実施したパフォーマンステスト

- 1年生は学期に2回パフォーマンステストを実施（3学期は1回のみ）
- 時間数や活動のアイデアが出ない場合は音読テストに

学期	単元	内容
1学期	Pre-Lesson	クラスメイトに自己紹介をしよう
	Lesson 3	音読テスト①
2学期	Lesson 5	自分の好きなことと将来の夢を話そう
	Lesson 7	自分が尊敬している人を紹介しよう
3学期	Lesson 10	音読テスト②

# 2年生で実施したパフォーマンステスト

- 2単位となったため、学期に1回ずつパフォーマンステストを実施

学期	単元	内容
1 学期	Lesson 1	旅行プランを提案しよう
2 学期	Lesson 3	学校の魅力を紹介しよう (学校紹介ビデオ作成)
3 学期	Lesson 5	音読テスト

# 3年生で実施したパフォーマンステスト

- 3年生は扇菌が学年から抜けたため、論理・表現Ⅰ（本校では選択科目）でパフォーマンステストを実施

学期	単元	内容
1 学期	Lesson 8	尼工生の人生相談 中学生のお悩みに答えよう
2 学期	Lesson 3	尼工の素敵なお先生 尼工の先生を地域に紹介しよう
卒業考査	Lesson 9	Sales Pitch 課題研究で作った作品のCMを作ろう
	オリジナル	Job Interview with ALT ALTの先生と就職面接

# 本校の論理表現について

- 3年生で選択する「選択科目」（普通科と違い、**必修ではない**）
- 金曜日の**5・6時間目の連続2時間**
  - 行事等で金曜日がなくなることが多く、中間考査は実施しない
  - 中間考査はパフォーマンス課題で代用
- 大学進学者向けの科目として生徒に告知
  - この科目だけは「課題提出」を求めると釘を刺している
- 4名が受講。そのうち3名は英語コミュニケーションの成績が良い
- パフォーマンス課題は、1つの題目で2つ作らせた
  - 優秀な生徒がそろっているので負荷をかける
  - 期末考査の配点と極力均等にするため

## **N's favorite teacher**

Let me introduce Mr. Nakane. He is a Japanese teacher who looks like a grandfather. He played soccer when he was a student and is now the coach on the soccer team. He has been teaching Japanese for 30 years.

## **N's favorite teacher**

Let me introduce Ms. Ojima. She is an electronics teacher who is bright and cheerful. When she was a student, she was a class collapse leader. She failed job tests 20 times. When she went to Nagasaki, she had been driving a car for 20 hours.

## **M's favorite teacher**

Let me introduce Mr. Fujino. He is a vice principal. He used to teach mechanics. He has been working for 32 years. When he was a student, he won the 3<sup>rd</sup> place in the Kendo tournament.

## **M's favorite teacher**

Let me introduce Ms. Hirota. She teaches English at high school. The reason why she chose English as her teaching subject is that it is the subject she is the best at of the 5 subjects and she enjoyed teaching at cram school. The lesson enables us to feel English interesting.

## **Y's favorite teacher**

Let me introduce Mr. Yagi. He is a science teacher and the homeroom teacher for electricity. He loves sports so much that he coaches the baseball club and he often watches sports. His homeroom teacher in his school days was a science teacher, so he admired the teacher and became a science teacher. His lessons are very interesting and he makes sure that students never get bored.

## **Y's favorite teacher**

Let me introduce Mr. Kawamura. He is a math teacher and the homeroom teacher for mechanics. He is a serious teacher. But did you know that one of his hobbies is visiting ramen restaurants and cafes? He became a math teacher because it was the most rewarding thing to do. He tries to have fun with his students when teaching. I would like to conclude my talk.

## **U's favorite teacher**

Let me introduce Ms. Takada. She is a teacher who teaches social studies. She doesn't join any club activities. Her character is indecisive because she doesn't want to decide things right away.

She has been good at Japanese since junior high school. Her hobbies are reading books and writing novels.

Surprisingly, she has posted a novel somewhere. Where do you think it is? The place is "Let's become a novelist." Are you surprised? Actually, she has posted 2 or 3 novels there. If you are interested, please find them.

Lastly, her class enables us to enjoy studying social studies. Thank you for listening.

# U's favorite teacher

Let me introduce Amagasaki Tech High School's nice teacher. Because he cannot help caring about everything, he is quite detail-oriented.

He is a teacher who teaches mechanical engineering. His class enables us to cast. He likes martial arts. When he was a junior high school student, he did Kendo. And he has been doing Karate since high school.

I asked him "if you could take one thing to the deserted island, what would it be?" He answered "glasses." Why do you think that is? Actually, his visual acuity is only about 0.02. Therefore, he cannot see things properly soon by wearing contact lenses for a long time.

Lastly, his talent is Karate. He joins Karate club. Do you know who he is? The answer is Mr. Takeishi! Did you all get the correct answer? Thank you for listening.

# 1年生から言語活動をし続けた結果

- 文法の複雑さが非常に増している
- 原稿準備時、こまごまとしたスペリングミスがあるが、新しい事項を積極的に使った
- こちらが教えていない新しい表現でタスクを満たす場面も
- AIを使った節はなく、自力で調べたと思われる
  - AIを使っていれば手書きでも完璧な原稿を書いてくるはず・・・

# 授業担当者の分析

- 生徒4名の能力が伸長した理由は以下にあると思われる

①*Rubric*の基準を具体化し、発表の質の向上を図ったこと

②授業内で到達してほしい*Model*を教師が見せたこと

③授業内でクラス全体と個別生徒への「中間指導」を行ったこと

④文化祭のステージ発表と展示を利用したこと

⑤「受講生徒4名が担当者の指導についてきたこと」

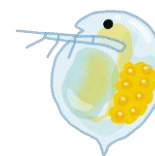
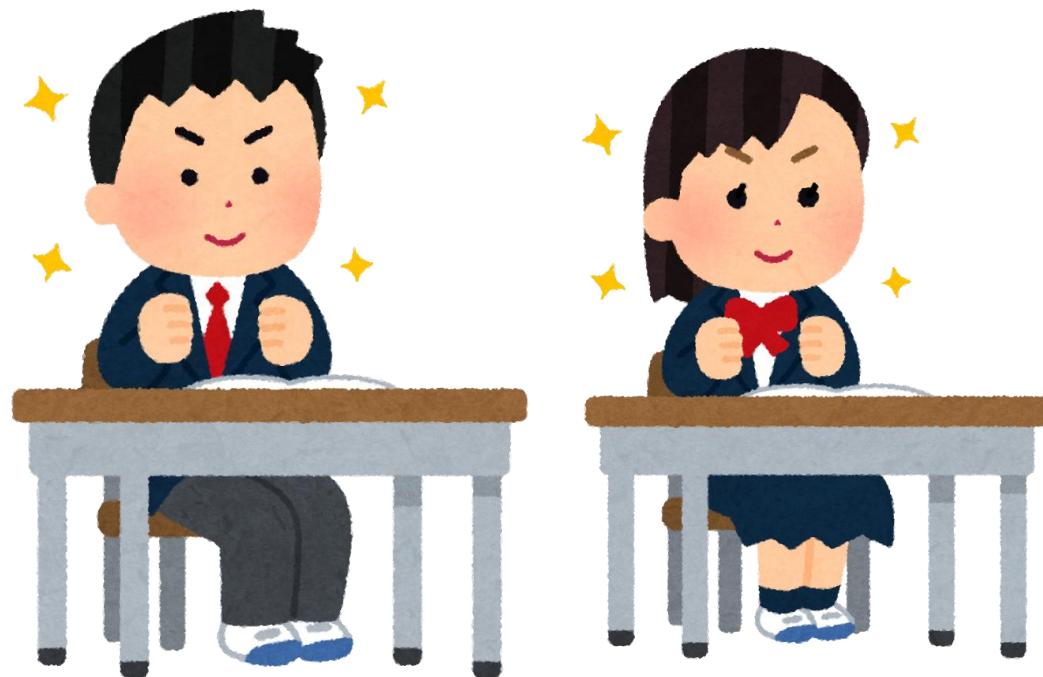
⑥生徒たちの「能力と努力」

・・・が、最大の要因である

一番偉いのは「がんばった」  
論理・表現の受講生徒である

教師の指導は「ミジンコ」のようなもの

生徒→



←教師の指導

# 1年生2学期のRubric

## Lesson 7 Communication Task Rubric

評価規準：自分が尊敬している人を具体的に紹介することができる。

評価基準	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
A (3点)	文法のミスなく話ができている。	自分が尊敬している人がしていること、 したことを3つ紹介出来た。	Tool-Boxの単語を使わずに、自分自身の 言葉で話すことができている。
B (2点)	文法のミスが1つ～2つあるが、話ができ ている。(または2回以上原稿を見た)	自分が尊敬している人がしていること、 したことを2つ紹介できた。	Tool-Boxの表現を1つ以上使用した。
C (1点)	文法のミス3つ以上あるが、話ができ ている。(または常に原稿を見て発表した)	自分が尊敬している人がしていること、 したことを1つ紹介出来た。	Tool-Boxの人物をほぼそのまま紹介し た。

↵

### Tool-Box

①・人物

Otani-Shohel / Emma-Watson

②・何をしているか・何をしたか

is now playing baseball on a major league team (現在メジャーリーグのチームで野球をしている)

is a wonderful pitcher as well as a good batter (すぐれた打者であるだけでなくすばらしい投手でもある)

is a British actress (イギリスの女優である)

played Belle in Beauty and the Beast (「美女と野獣」でベルを演じた)

# 2年生1学期のRubric

## 2年生英語コミュニケーションⅡ □Lesson 1・Communication・Task・Rubric

評価規準：自分の旅行プランを、目的地に着くのにかかる時間や費用、そこでできることも含めてクラスメイトに提案することができる。

評価基準	思考・判断・表現 (Targetの文法事項が使えているか、Taskの達成度合いを評価)		主体的に学習に取り組む態度 (聞き手に伝わるよう努力しようとしているかを評価)
A (3点)	かかる時間、費用、行先でできることをすべて伝えることができた。	Targetとなる文法事項をすべて使い、文法のミスなく話ができている。(ミス1つまで)	原稿を見ずにクラスメイトに向かって旅行プランを提案できた。
B (2点)	かかる時間、費用、行先でできることのいずれか2つを伝えることができた。	文法のミスが2つ以上あるが、話ができただ。 もしくはTargetとなる文法事項2つのうち、片方を使用しなかった。	原稿を1回以上見てクラスメイトに向かって旅行プランを提案できた。
C (1点)	かかる時間、費用、行先でできることのいずれか1つを伝えることができた。	文法のミスが3つ以上あるが、話ができている。 もしくはTargetとなる文法事項2つのうち、どちらも使用しなかった。	原稿を2回以上(もしくは常に)見てクラスメイトに旅行プランを提案できた。
0点	上記の内容を満たしていない。もしくは発表を行わなかった。		

# 3年生1学期のRubric

## 3年生論理・表現Ⅰ Lesson 8 カウンセラーに相談 Speaking Task Rubric No.1

評価規準：相談相手の気持ちに寄り添ったり励ましたりしながら、視覚補助を用いて悩みに対する提案をすることができる。

評価基準	知識・技能 (表現の幅の広さ及び正確さ。色々な表現を正確に使うことができているかを評価。正確さは発音も含む)	
A (3点)	相談相手に共感したり励ましたりする表現を <u>3種類</u> 正確に使用できた。	相談内容に対する提案を表現するための表現を <u>3種類</u> 正確に使用できた。
B (2点)	相談相手に共感したり励ましたりする表現を <u>2種類</u> 正確に使用できた。	相談内容に対する提案を表現するための表現を <u>2種類</u> 正確に使用できた。
C (1点)	相談相手に共感したり励ましたりする表現を <u>1種類</u> 正確に使用できた。	相談内容に対する提案を表現するための表現を <u>1種類</u> 正確に使用できた。
0点	共感する表現や励ます表現を使用していない。すべての共感や励ましの表現が不正確。発表を行わなかった。	提案する表現を使用していない。すべての提案のための表現が不正確。発表を行わなかった。

←

評価基準	思考・判断・表現 (Taskの達成度合いを評価)		主体的に学習に取り組む態度 (聞き手に伝わるよう努力しようとしているかを評価)
A (3点)	相談相手に共感を示したり、励ましたりするための表現を <u>2つ以上</u> 使って発表することができた。	相談内容に対する提案を <u>3つ以上</u> 出し発表することができた。	視覚補助のスライドが <u>2枚以上</u> 使用されている。
B (2点)	相談相手に共感を示したり、励ましたりするための表現を <u>1つ</u> 使って発表することができた。	相談内容に対する提案を <u>2つ</u> 出し発表することができた。	視覚補助のスライドが <u>1枚</u> 使用されている。
C (1点)	相談相手に共感や励ましを示さず発表した。	相談内容に対する提案を <u>1つ</u> 出し発表することができた。	視覚補助のスライドを用いていないが、発表を行った。
0点	上記の内容を満たしていない。もしくは発表を行わなかった。		

# 3年生2学期のRubricの上半分

## 3年生論理・表現 I Lesson 3 人物紹介 Speaking Task Rubric No.1

評価規準：尼崎工業高校の先生の「意外な」魅力を紹介したビデオを様々な表現を使って作成することができる。

評価基準	知識・技能 (表現の幅の広さ及び正確さ。色々な表現を正確に使うことができているかを評価。正確さは発音も含む)	
A (3点)	高校で習った学習事項や特殊構文を <u>3種類以上</u> 交えて発表することができた。	発音ミスや文法上のミスがほぼない状態で発表した。(ミス <u>2か所まで</u> )
B (2点)	高校で習った学習事項や特殊構文を <u>2種類まで</u> 交えて発表することができた。	発音ミスや文法上のミスがところどころあるが、発表した。(ミス <u>3か所~7か所</u> )
C (1点)	高校で習った学習事項や特殊構文を使っていないが発表した。	発音ミスや文法上のミスがかなりあるが、発表した。(ミス <u>8か所以上</u> )
0点	上記の内容を満たしていない。もしくは発表を行わなかった。	

※コロケーションや冠詞のミスはカウントしない。※著しく理解を困難にする文法ミスは、複数個扱いになる場合がある。

評価基準	思考・判断・表現 (内容面で Task を達成できているかを評価)		主体的に学習に取り組む態度 (聞き手に伝わるよう努力しようとしているかを評価)
A (3点)	紹介する先生の情報を <u>4つ以上</u> 出すことができた。	その先生についての意外な情報が <u>2つ以上</u> 含まれている。	視覚補助のスライドが <u>2枚以上</u> 使用されている。
B (2点)	紹介する先生の情報を <u>3つまで</u> 出すことができた。	その先生についての意外な情報が <u>1つ</u> 含まれている。	視覚補助のスライドが <u>1枚</u> 使用されている。
C (1点)	紹介する先生の情報を <u>2つまで</u> 出すことができた。	誰もが知っている情報ばかりだが、発表を行った。	視覚補助のスライドを用いていないが、発表を行った。
0点	上記の内容を満たしていない。もしくは発表を行わなかった。		

意外な情報・・・「みんなが知らない先生のエピソード、経歴、情報」

# CALPに相当する複雑な構文を使わせる工夫

- 高校の文法事項は、タスクが組みにくいことを扇菌(2023)で指摘した。
  - 高校の文法事項はCummins(1984)の学習言語能力(CALP)に相当
    - = 形式が複雑・意味が抽象的・言葉だけの勝負・認知的負荷が高い
    - **目的・場面・状況と関連が薄くなるのでタスクが組めない場合がある**
    - **別に使わなくても「易しい表現」で言い換えられてしまう**
- 複雑な文法事項を使わせるため、2学期の発表ではこれまで学習した事項をリストにしてRubricの下半分で生徒に提示

リスト内の事項を3種類以上使ったら幅の広さでA **知識・技能に3点**  
1つの発表で、ほぼミスなく発表したら正確さでA **知識・技能に3点**

# 3年生2学期のRubricの下半分

高校で習った文法事項	
文法項目	具体的な内容
文型	SVOC / SVOO / SVO to / for 人
時制・完了形	used to / would often / 現在完了進行形 / 過去完了 / 未来完了 / It has been 時間 since 構文
助動詞	推量の助動詞 / 過去の推量 / might want to do / had better
受動態	受動態全般 / It is said that 構文
To 不定詞と動名詞	want 人 to do などの意味上の主語を伴うもの / to 不定詞や動名詞の否定形 / 形式主語の it を使った構文 / It takes (costs) 人時間 (値段) to do / in order to do
分詞	形容詞の働きをする分詞 / 分詞構文
比較級	全般
間接疑問文	全般 (疑問詞 + to do も含む)
関係詞	関係代名詞全般 / 関係副詞全般 / 関係詞非制限用法
仮定法	全般
否定	部分否定 / 二重否定
知覚動詞と使役動詞	全般 (知覚動詞は原形不定詞/分詞を共に使う必要がある) / get 人 to do
特殊構文	so 形容詞 that SV / 形容詞 enough to do / too 形容詞 to do 構文 / remind A of B などの無生物主語
感嘆文	全般
接続詞	and / but / so を除く接続詞を使った複文全般

※上記以外にも、自分で調べてきた特殊構文や文法事項があればカウントする

# CALPに相当する複雑な構文を使わせる工夫

- リスト内になくても、こちらが高校相当だと判断すれば、加点した
  - 接続詞は中学レベルだが、本校の生徒は複文でしゃべれないので追加
  - 内容で 「意外な魅力」を伝える としておき、具体例として以下をあげた
    - ①昔やっていたが今やっていないこと → *used to do / would often*
    - ②昔から今もずっと取り組んでいること → **現在完了進行形**
    - ③その先生の授業を受ければできるようになること → **無生物主語**
- 復習する時間と練習する時間を設け、原稿に反映させる

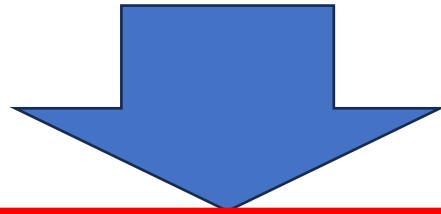
1つの文法事項や構文に絞るからタスクが組めなくなる  
それなら網を広げて複数のものから選択させ、使用を促した



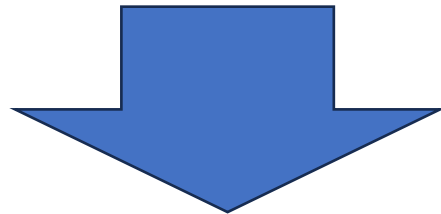
**これまでの学習ストックがある3年生だからできる芸当！**

# Rubricの作成手順（昨年の復習）

①単元内のGoal=評価規準（のりじゅん）を決定



②評価規準を要素に分けて3観点に振り分ける



③各観点の評価基準（もとじゅん）を作成する

# 用語の整理（昨年の復習）

- **評価規準（のりじゅん）** : **Evaluation Standard**

授業や単元を受けた後、「最終的にあってほしい生徒の姿」のこと  
「〇〇することができる」という形で表記する  
簡単に言えば、授業や単元の「目標（Goal）」と言ってもよい

- **評価基準（もとじゅん）** : **Evaluation Criteria**

規準に対して、どれだけ達成できたかを示す指標  
ABCや点数で表記する

# 具体的なRubricがあれば . . .

- 「感度の高い」生徒は、満たさなければならない条件を満たそうとして思考を重ねる
- 内容・表現ともに条件や数が明記されているので、長い文章を書かざるを得なくなる
- 目標となる文法事項もRubricに明記すれば引き出すことができる

**力のある生徒なら、複雑で濃い内容のパフォーマンスが完成する**

# Slow Learnerの指導をするときも

- 感度が低かったり、英語が苦手な生徒であっても、最低限の条件を満たす手立てやアドバイスを中間指導の際に教師側が与えやすい

- Cの生徒がBになるために・・・

「準備ワークシートにある内容で、何が書けるかな？」

- Bの生徒がAになるために・・・

「この2文は関係代名詞でつなげられるけど、どうすればいいかな？」

**中間指導時に、Rubricを元に対話形式で具体的にアドバイスする**

**GoalとRubricは指導の根幹を成す重要な要素**

Rubricの「具体性」が授業と発表の質を高める  
と言っても過言ではない

# 論理表現の授業展開

- 5時間目は、ワークブックを使った新規の文法事項の明示的解説と演習も行った。
- Presentationの項目はTTの時間と連動性が出るように極力配慮した。
- 連続2時間の6時間目のTTは単元レベルで以下のPhaseに分けた
  - ① *Try out*
  - ② *中間指導* (全体→個別)
  - ③ *発表*
  - ④ *フィードバック*

(木村, 2024)

# 5時間目のPresentationについて

Grammar 導入シート 9/13 Lesson 10 知覚動詞と使役動詞 ←

**A** SV O + **原形不定詞**  (English Grammar P.72) ←

次の文を比べてみよう！ ←

I saw my classmate. ( ) ←

←

I saw my classmate walk across the street. ( ) ←

←

walk across ~ : ~を横断する ←

①上の2つの文について、変化したところに下線を引こう。 ←

②どのような意味になると思いますか？ ( ) に日本語で意味を書こう。 ←

〈知覚動詞 + O + 原形不定詞〉「Oが~するのを見る (聞く・感じるなど)」 ←



see / look / hear / feel / notice... などの人間の感覚や思考についての動詞 ←

# 導入時のPresentationのコツ

- 生徒の既習事項と学習したい新規事項を比較する

I lost my key.

/

I have lost my key.

今も鍵を持っていないのはどっち？  
どこが変化した？

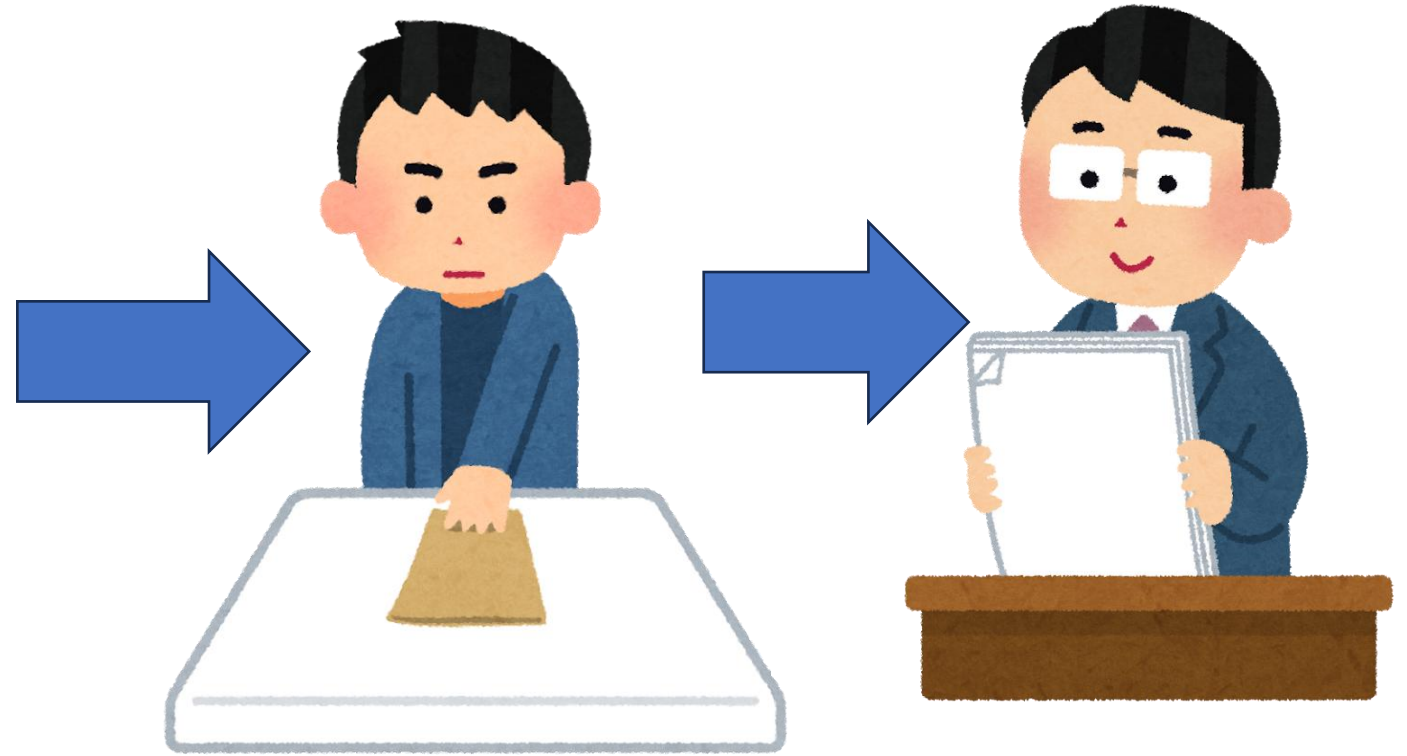
**意味や形式変化の違いに「気づかせる」  
例文は「サルでもわかる」簡単な単語を使う**

# ある程度分かったら軽い確認問題=Practice

- 記号問題や簡単な（ ）の穴埋め問題に取り組ませる
- 教師は「クイズ番組の司会者」の様に生徒に当てて答えさせる
  - 易しい問題なので、さっと答えられる
  - 正解したらしっかりほめて自信をつけさせる
  - 時間的に余裕があったら自分の答えの理由を言わせる
- 間違っても「惜しいなあ」とか「ほかの人はどうかな」みたいに話を振る
- 自信をついたらワークブックの問題へ
  - 右ページや別のプリントにして配布
  - ワークに書かせた場合、テスト勉強できるように後日、プリントで配布



# 翌日提出課題で提出 職員室前に封筒を置く



2クラス3展開なら、ハンコを付くだけなら **1クラス15分**程度出席番号で座席が並んでいる場合は順番にして、すぐに配布できるように

## 6 時間目のTTの流れ：①Try outについて

### • とりあえず英語で言わせてみる。

- アイディアを出す程度。浅くてもOK

1学期 「扇菌先生やStephen (ALT)のお悩みに答えてみよう」

2学期 「尼工であなたが好きな先生は誰？」

3学期 「課題研究で作っているものは何？」

→英語で質問する

**この段階では文にならないが、それでもOK**

**あくまで「お試し」と割り切り、話題に焦点を向けさせる**

Try out実演します  
先生方はご自身の経験でお話してください

レジюме裏面の写真を使います

# Who is your favorite teacher?



- Name
- The subject
- Reason why you like the teacher.

Talk with your partner.

# Model Speech: Who is this teacher?

- Mr. Ogizono and Stephen will show you the models of the speech.
- Listen to the speeches and choose one teacher from the list on your worksheet.

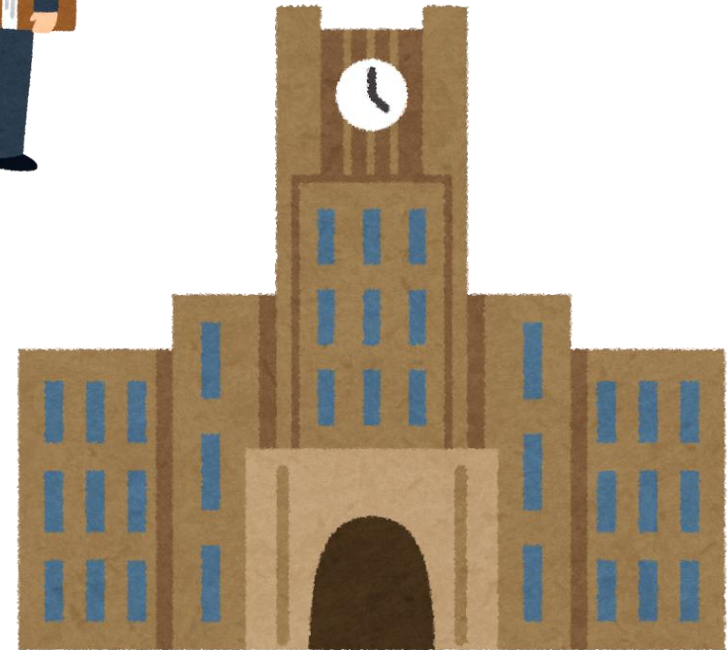
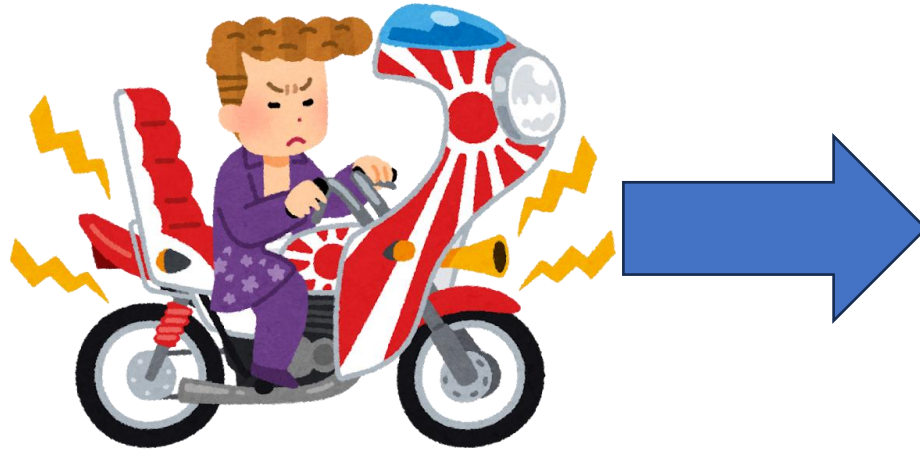
Sakamoto  
Kinpachi

Kuroki  
Kuroudo

Sakuragi  
Kenji

Onizuka  
Eikichi

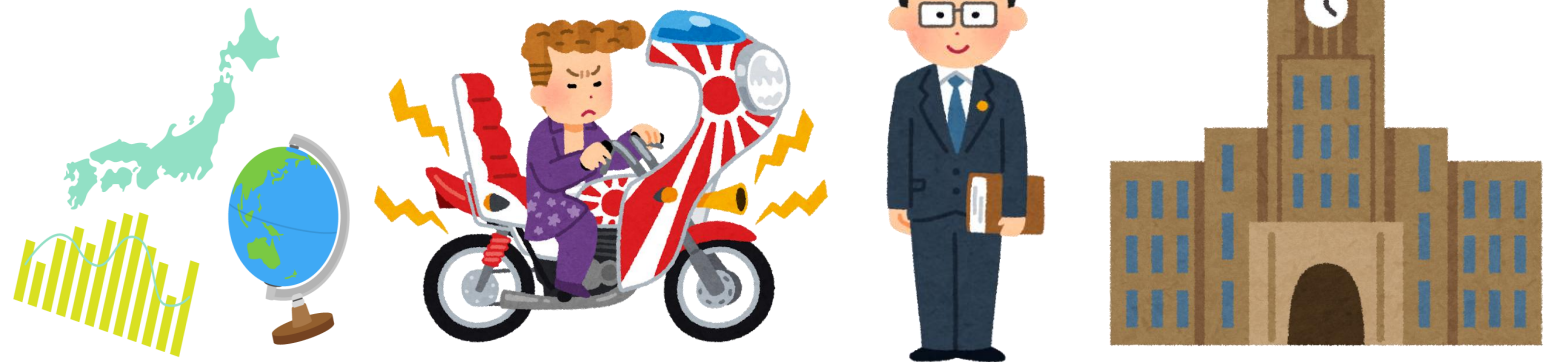
Who is this teacher? ①



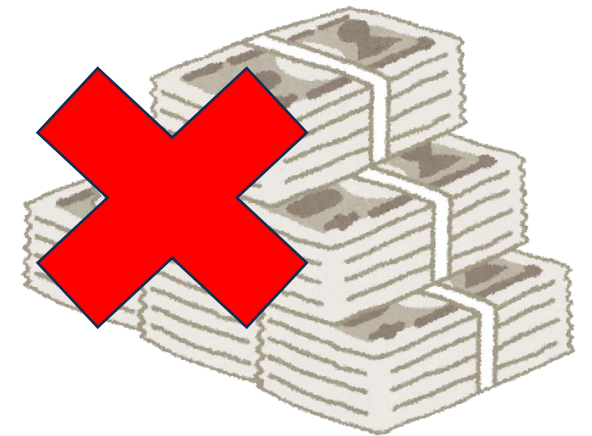
The Answer is...

Sakuragi  
Kenji

Let me introduce an enthusiastic teacher who teaches social studies in high school. This teacher used to be in a motorcycle gang. However, he works as a lawyer now. He encourages high school students to go to the University of Tokyo. Who is this teacher?



# Who is this teacher? ②



The answer is...

Kuroki  
Kuroudo

Let me introduce a cool teacher who teaches elementary school students at a cram school. When he teaches at the cram school, he always wears black clothes. His teaching methods enable elementary school students to pass difficult private school entrance exams. He is kind enough to help poor people. He also holds a cram school for poor people for free. Who is this teacher?



cram school:塾 teaching methods: 指導法 private school: 私立学校

entrance exam:入学試験 enable 人 to do:人が～することを可能にする

# 生徒へのModel Presentation（2時間目）

Matsushita Nobuyuki  
松下信之先生

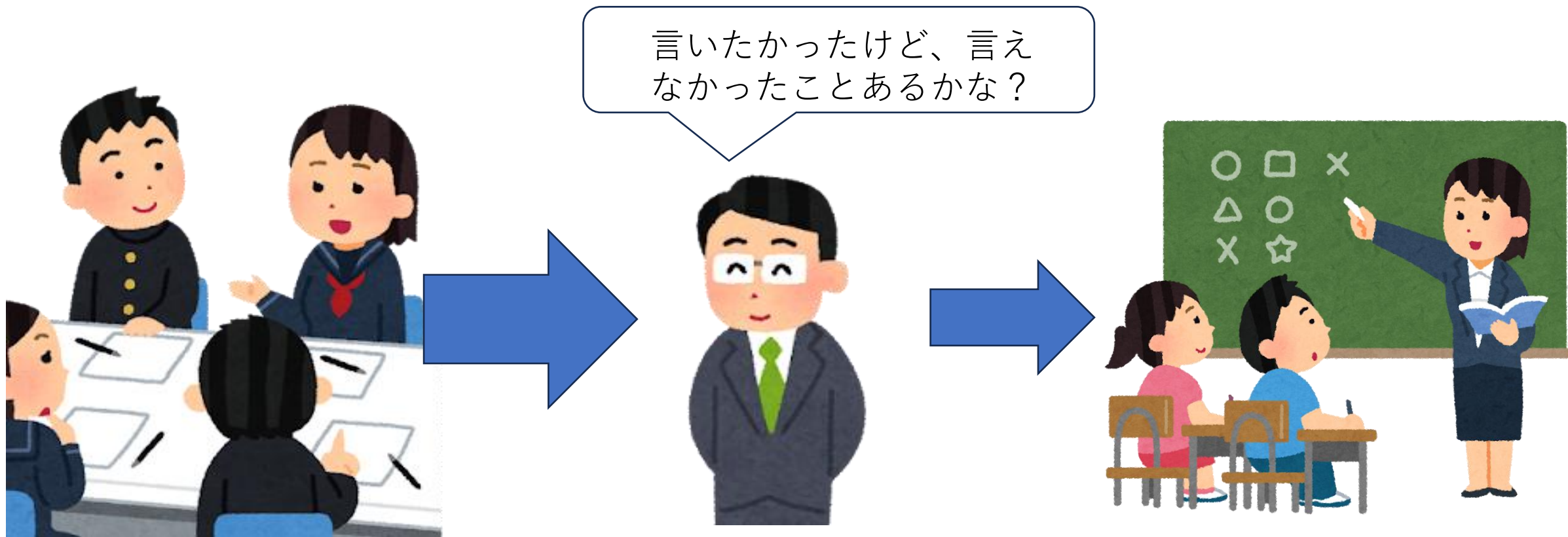
Let me introduce Mr. Matsushita. He is a legendary high school teacher in Osaka prefecture. He won the Palmer Prize. It is like the Nobel Prize for English teachers.

He used to work in Katsuyama High School. Many of the students in the high school were not good at English. He, however, conducted the lessons only in English. In other words, he did not use Japanese in his lessons! His lessons enabled the students in Katsuyama High School to speak English well.

I wish I could be like him.

# 中間指導について 中学校の場合

- Try outや練習のやり取りのペアワーク後に行う



ペアのやり取り

躰きの確認

全体へ指導

## ②クラス全体への中間指導について

- Model文は生徒に達成してほしいAのレベルを提示
- 使用してほしい文法事項を散りばめる
- 複数時間かけ復習し、「そして誰もいなくなった」で口頭練習
- 無生物主語は、一定のフレーズとして提示し、何度も練習させた  
*The lesson enables us to do: その授業を受ければ私たちは～できる*

## ②個別生徒への中間指導について

- 準備用のワークシートを翌日提出or次の時間持参の課題として課し、回収
- ある程度、生徒の原稿の方向性を見極め、個別のアドバイスを用意
- 生徒には、そのまま答えを提示するのではなく、発問を投げかける  
「このこの動詞の時制はいつの話かな？」  
「この文とこの文は、関係代名詞でつなげられるね。どうすればいい？」  
「過去の習慣で今やっていないことを言うには何を使うかな？」

→対話を通じ、生徒が「自力で」文法事項を使う「支援」をする

Aを越えてSへ . . .

### U君の場合

- **I can say only this to you, but surely you will do well.**

→教えていないが、U君は「励ます表現」を自分で考えてきた

- **Why do you think that is?**

→英語コミュニケーションでも出ていないdo you thinkを挟んだ疑問文

### ほかの生徒の場合も . . .

- 人生相談の提案する表現で**It is a good idea to do**を使ったN君

→Slow Learner寄りの生徒も**「Aを越えてS」**を出す場合があった

**Rubricの想定以上 (=S) を出した場合はフィードバック時に褒める**

# 発表活動について

- 発表は評価用にビデオ撮影するので、その動画を編集し、文化祭のステージ発表で使用する（評価・フィードバック後に撮り直しても良い）
- 教師が編集する必要があるが、これが文化祭の「作品」になる
- **生徒の肖像権の保護！** 生徒に事前告知し、**顔出しNG**な生徒を割り出しておく。  
→顔出しNGな場合は、スライドの画像をかぶせるなど編集する
- 最近の時勢により、**個人端末では撮影できない。学校のビデオカメラと編集用PCは必須。**

# 私の中間指導に対する考え

- Try out の結果を受けて

## ①クラス全体の底上げ（全体支援）

## ②必要に応じた個別コーチング（個別支援） を行い

## ③目的：どの生徒も言語活動（今回は発表）が成立するラインまで生徒を引き上げる“橋渡し”のフェーズ

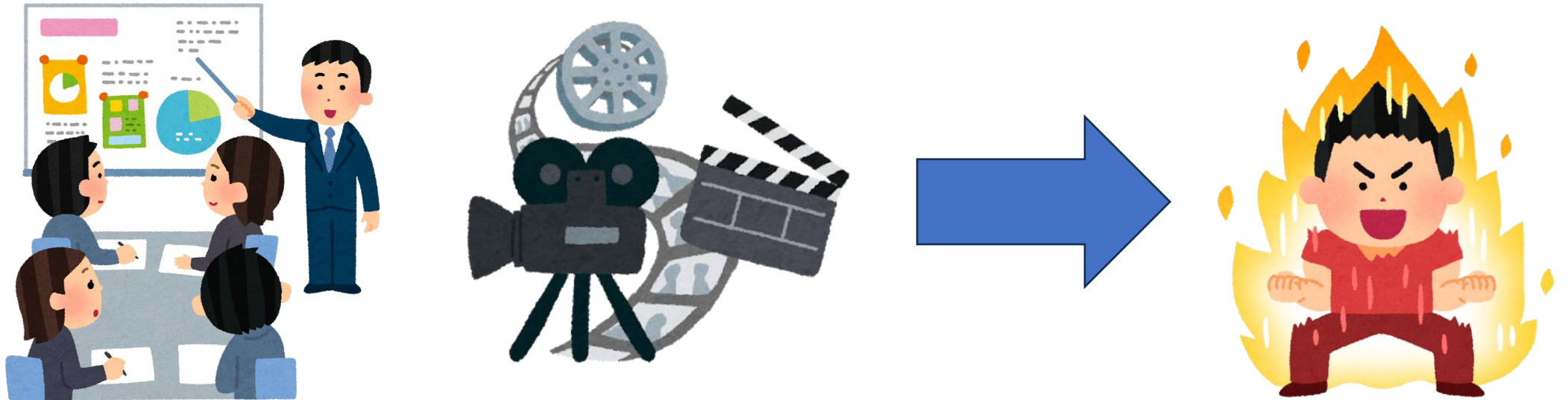
→扱う事項が複雑でクラスサイズの大い高校では、この考えで中間指導をとらえたほうが良いのでは？



# 発表の質を高める「ホーソン効果」

- 三山（2024）で紹介された「ホーソン効果」

ビデオカメラで撮影されたり、人前で発表する機会が与えられた場合、その人のモチベーションやパフォーマンスが向上すること



# ホーソン効果を味方につけたU君

クラスメイトだけでなく、文化祭で全校（+保護者）に披露することがプラスの緊張感につながり、U君の「本気」を引き出した

**U君「今回は本気出したんだけど・・・」**

= このセリフはホーソン効果の恩恵を受けた証拠

# 指導・Rubric・努力・ホーソン効果で大幅成長



# おすすめの動画の編集アプリについて

- 生徒向け→**Cap Cut** (村上, 2023)

若い世代に受けている無料の動画編集アプリ  
手軽に字幕や音楽を入れたり、背景を変えたりできる  
iOSとWindowsどちらにも対応する

- 教師向け→**Davinci Resolve**

無料のソフトの中では最も多機能なアプリ  
有料はプロ向けで「ハリウッド映画」レベルの編集ができる  
音の調整やテロップはもちろん、色彩の調整や再生速度も調整可  
ただし、**メモリ 16 GB以上の高スペックのPCが必要**

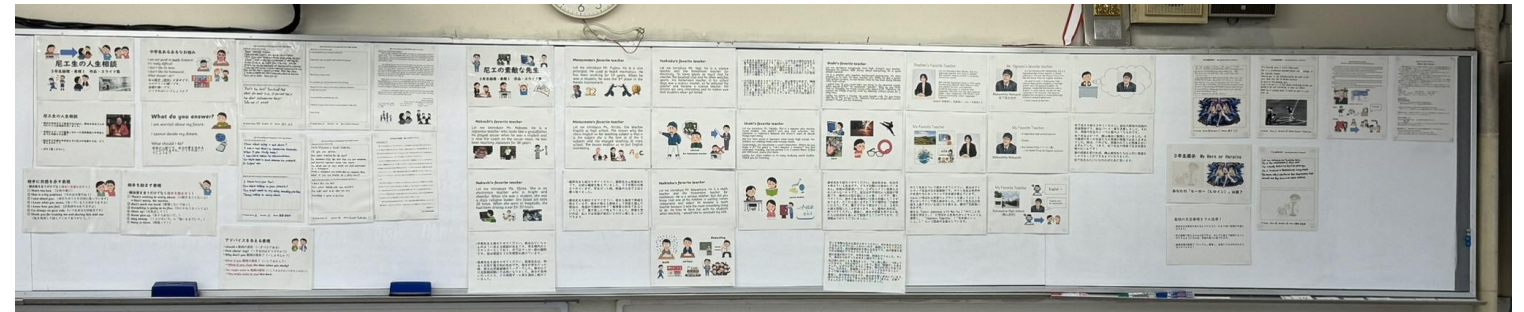
# 慣れない人はPowerPointと併用する

- Davinci Resolveで字幕やテロップを自在に入れられます
- . . . が、複雑化すると変更点が出た後の調整が大変になる
- Power Pointはスライドを画像にしたり、mp4の動画として出力できるので、それを素材にする
- 素材をカットして再生速度を変えたり、ポーズを置いたりして音楽に合うように編集

# Writingも展示で出す

- 生徒のWritingも、Rubricで添削後清書させ、展示
- 生徒の作品はラミネート加工を施し、裏面にマグネットを付ける
  - 掲示時は黒板に貼るだけ。
  - 掲示作業は30分以内で終わる
  - 配置換え・撤去も容易に
- 実施後も生徒のポスターになり、冷蔵庫に貼って置ける

**= ゴミにならない**



# 文化祭の時期について

- 本校の尼工祭は 1 1月2日（文化の日） に実施される
- 生徒たちは 1 学期と 2 学期に培った各科の専門技術を披露できる
- 共通科目もこの時期なら、ある程度学習のストックがたまるので発表活動を披露させやすい
- 普通科は 6 月か 9 月に開催されることが多い  
その場合は前年度の活動を披露する形にしてもよい  
（ただし、「鮮度」が落ちるのが難点）

# 文化祭、ちょっといい話



- 展示会場にU君が保護者と一緒にやってきた
- 保護者が発表や展示を見て「お前、すごいなあ」とU君に言っていた
- 保護者が子どもの成長を見れる絶好の機会になりました

文化祭で教科の企画を出すのは学校経営でも大いに役立つ

# 令和7年度文化祭はバージョンアップ

- 今年度の文化祭は、教科団でいろいろな催しを行った
- 新製品発表会に見立てて企画を発売
- その名も **AMAKOU IMPACT**
- 模擬店の出店、ステージ発表の動画、作文の展示

## ALT作成の文化祭ロゴ



## 初任の文化祭動画



## 模擬店の出店



# 文化祭の詳細



色々な科目の催しが出ることで、様々な展示物が行える  
各教師の実践が披露できる場でもある

# 全体的な反省・改善点

- 論理表現は2つ発表を作ったため、覚えるのが難しくなったこと  
4人全員、2つずつの発表を作っている
- 生徒が「本気」になるのは1度ビデオの前に立ち、発表してみしてから  
= 火が付くのが遅い
- 家庭学習で練習を促したいが、さすがに「副教科」の域を超えてしまう
- 文法事項が複雑化し、内容が多くなると覚えて発表が難しい  
→ 上位層でも原稿見ながらの発表になった (= Readingになった)

# 普通科で授業モデルにする際の問題点

- 「個別性」が強くなるため、クラスサイズは最大で20名が望ましい。  
→20名を超えると発表時間と個別指導の時間が取りにくくなる
- 5～8クラスだと、2クラス3展開がよくあるパターンになる  
= 生徒数26名前後 担当教師1学年で3名以上
- この人数では、50分の授業で発表時間が最大1分30秒となる。
- **インタビューテストは夢のまた夢・・・**

## 5 時間目の文法解説・演習は必須

- PPPのPresentationとPracticeの時間はどうしても必要になる  
→TBLT形式や帰納的に新規の文法事項を導入するのは高校では難しい
- EFLの環境なため、新規の文法事項は、ほぼ「**初見**」である  
→ESLほど接触量と使用機会がないので、いきなりTBLTは不可
- 複雑な文法事項はPresentation・Practiceで入れておき、ある程度ストックを作ってからProductionに向かわせなければならない

**もちろん日本語のPresentation「だけ」では×**

令和6年度の論理・表現で私が出した結論

**改訂版PPP（佐藤, 2022）（泉谷, 2024）**

および

**Task-Supported Language Teaching (TSLT)**  
**（Ellis, 2003）（高杉, 2024）**

・・・が日本の高等学校に合うだろう

- 今回の実践はこれらを踏襲したものに「結果として」なった

# 改訂版PPPとTSLTとは

## • 改訂版PPP（佐藤, 2022）（泉谷, 2024）

→従来のPPP（Presentation→Practice→Production）に「意味のある練習活動ややり取りを入れる」教授法

## • Task-Supported Language Teaching (TSLT) (Ellis, 2003)(高杉, 2024)

→すでに知っていたり練習したりした事項で、タスクを設定する教授法

cf. TBLTはタスクから言語材料を考える。（=いきなりUseから入る）

例）美容師として英語で接客業をしてみよう

→実際に美容師役になり使う言葉を考えさせて使用させる

→ESLの環境なら可 EFLでは無理

# 改訂版PPPとTSLTを「組み合わせる」

**(改訂版) PPP**

*Presentation*



ワークで*Practice*  
意味のある*Practice*



**Production**

**発表！！**

- 母語による文法の提示・解説
- 口頭練習
- 教科書やワークブック、プリントによる演習Drill

→使用できないまでも知識としてストック

**TSLT**

- Try out
- 中間指導
- 口頭練習

→ストックした知識を活用して呼び覚ます

今日は改訂版PPPの  
PPまで

発表が近いので  
TSLT

授業や単元に応じて使い分ける  
総合的に見て「組み合わせた」形にする



2つが組み合わせあって  
発表へ！

# 今井裕之先生（関西大学）の言葉

- 発表者が院生時代（2008年）に今井裕之先生が英語科授業論の講義でこうおっしゃってました
- 田尻先生などのパーマー賞を取る「スーパーティーチャー」たちは、1つの教授法や理論にとらわれずに、生徒たちとの「対話を通じて」その生徒たちに合った理論や教授法を「次々と作り出している」
- いろいろな教授法を知り、実際にトライして、生徒たちに合ったものを提示したい

# 「教育」の本質って何だろう

アムロ、成長したなど。もう、お父さんうれしいよって思っちゃうんですけどもですね。このね、アムロが成長したことによる喜びとかゾクゾク感がですね、ビルドゥングスロマン（教養小説）の本質だと思っうんですね。

僕が『無職転生』を強く推すのも、『アルプスの少女ハイジ』みんな見たほうがいいよと思うのも、人が成長して行って周りとの対応が変わってというのって、僕らの「魂」に訴えかけるからなんですね。

『ガンダム』って、いろんなものが面白いんですけども、その中心にあるのは主人公が「こいつはえらいけど俺はだめだよな」ではなくて、「見てる人間よりダメな奴が徐々に徐々に周りとの関係をちゃんと築いていってくれる」っていうのを描いてくれるから、初代ガンダムが名作として残っているんですね。

初代ガンダムだけ、なんでこんなに特別に扱われるのかということ、この「ビルドゥングスロマン」っていうのをめっちゃくちや丁寧に描いているから、結果的にキャラの心情が心にしみているんですね。そこら辺の面白さが僕はあると思います。

岡田斗司夫ゼミ『機動戦士ガンダム講座#137「エルメスのララァ」その2』より

- （筆者で一部言い回しに改変を加えています。）

# 教育の本質 = 「ビルドゥングスロマン」

- **ビルドゥングススロマン**（ビルディングスロマン, 教養小説とも）  
→人が出来事（苦難）を通じて成長する様子を描いた物語のこと
- 「*見てる人間よりダメな奴が徐々に徐々に周りとの関係をちゃんと築いていってくれる*」  
= 人間の成長を『機動戦士ガンダム』は描いている

**教科指導でも生徒の成長を促すことが非常に大切！**

**できないことを少しでもできるように導くのが教育の本質**

# 終わりに 尼工祭のステージ発表のED



- 『Prism in the Wind 風の中のプリズムEnglish ver.』とともに
- 令和6年度文化祭テーマ  
「**そこに青春はあるんか！？**」

**これが青春だ！  
This is youth!**

教師の役割は producer と director  
生徒の能力と魅力 を最大限引き出しましょう





ものづくりは人づくり



成長した生徒たちには自身の未来を  
切り拓いてほしい。

未来は「与えられるモノ」ではなく

「獲得するモノ」だから・・・。



*A future is not given to you,  
but it is something you take for yourself.*  
(TVゲーム 『NieR Automata』 Eエンドより)

高校の現場からは以上です！  
ご清聴、ありがとうございました



# 参考文献・講演・動画

- 泉谷忠至 (2024) 『日本のEFL環境にぴったりの英語指導「改訂版PPP」大公開』 国際教育ナビ令和6年度9月ウェビナー
- 扇蘭尚孝 (2023) 『職業系高校における言語活動の実践 —All Aboard! English Communication I の活用—』 東京書籍, 東書Eネット
- 扇蘭尚孝 (2025) 『職業系高校における言語活動の実践とその諸問題』 令和6年度兵庫県英語部会ワークショップ
- 岡田斗司夫 (2023) 『無職転生II速報&「機動戦士ガンダム」完全講座 #137「エルメスのララァ」その2 岡田斗司夫ゼミ #498 (2023.8.6) YouTube <https://www.youtube.com/watch?v=ZE6K4eV8K6A> 令和7年9月24日閲覧
- 木村祐太 (2024) 『生徒の個別の関心から相手を設定するライティングの授業—途上国の子ども達に日本の夏休みを紹介— (中学1年)』 令和6年度英語授業研究学会4月例会
- 佐藤臨太郎 (2022) 『EFL環境下での文法指導』 佐藤臨太郎・笠原究編 『効果的英語授業の設計—理解・練習・繰り返しを重視して』 (pp.1-55)
- 高杉達也 (2024) 『中学校・高等学校 思考力・判断力・表現力を育てるタスク×言語活動英語授業デザイン』 明治図書
- 三山寿紀 (2024) 『個別最適な英語学習の動機付けアプローチ』 令和6年度英語授業研究学会10月例会
- 村上望大 (2023) 『スキットで動画づくり！—自律的な学習者を育む楽楽ICT活用—』 令和5年度英語授業研究学会7月例会
- Ellis, R. (2003) *“Task-based language learning and teaching.”* Oxford University Press